

科目名	体育理論		
担当者	北田 和美		
配当学年	2	単位	2
クラス	全学科		
開講年度学期	2017年度 Ⅲ学期～Ⅳ学期		
授業の目標(到達目標)	体育の学習は、単に体を動かすことだけではなく、人格形成に大きな役割を果たす教育内容であることを理解する。そして、その学びを自分育てにも生かす。		
授業内容	からだ育ては人育てである。からだを育てていくことが、よりよく、たくましく生きていくことに如何につながるのかについて学ぶ。そして、生涯にわたって健やかに過ごしていくために、自分のからだをどのように育てて行けばよいのか、自分なりの考えを持つ機会にする。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 体育とは何か 体育から何を学んできたか</li> <li>2 体の教育としての体育の歩み (1)体操から始まった体育 (2)体練という時代</li> <li>3 体育授業の特徴と「からだ」のとらえ方</li> <li>4 身体感覚を育てる (1)からだで覚える</li> <li>5 身体感覚を育てる (2)使い方で変わるからだ</li> <li>6 身体知を高める</li> <li>7 脳を鍛える(1)脳と運動</li> <li>8 脳を鍛える(2)脳を作る</li> <li>9 身体活動がからだへ及ぼす影響(1)子ども</li> <li>10 身体活動がからだへ及ぼす影響(2)女性</li> <li>11 身体活動がからだへ及ぼす影響(3)高齢者</li> <li>12 文化としてのスポーツ(1)始まり</li> <li>13 文化としてのスポーツ(2)オリンピックムーブメント</li> <li>14 文化としてのスポーツ(3)女性スポーツ</li> <li>15 授業の総括</li> </ol>		
成績評価	<p>【成績評価基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 体を育てる教育がなぜ必要なのか理解できる。</li> <li>2. 「体育で」が「人育て」といわれるのはなぜか理解できる。</li> <li>3. 生涯にわたって自分のからだをどのように育てていくのかについて展望を持てる。</li> </ol> <p>【成績評価方法】</p> レポート(30%) 小テスト(20%) 受講態度(50%)		
他の科目との関係等学習上および履修上の注意点			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職免許取得のための必須受講科目です。</li> <li>・ 必要に応じて参考資料の配布や文献の紹介をおこないます。</li> </ul>			
教科書			
書籍名	著者	出版社	出版年
参考文献			
書籍名	著者	出版社	出版年
「教育としての体育」	中森孜郎	大修館書店	
「身体感覚を取り戻す」 －腰・ハラ文化の再生－	斎藤 孝	日本放送出版協会	2000
「女性スポーツ白書」	井谷恵子・田原淳子・來田享子編 著	大修館書店	2001